

科目名		演技研究Ⅱ							年度	2024
英語科目名		Performance Study Ⅱ							学期	後期
学科・学年		声優・演劇科 1 年次	必／選	必	時間数	40	単位数	2	種別※	講義
担当教員		長谷川浩司	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】										
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。										
【科目の概要】										
映画、テレビ、舞台など、様々な作品に触れながら演技を研究実践する。										
【到達目標】										
手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力をさらに持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対してより本質的な向き合い方ができる役者になることを目標とする。										
【授業の注意点】										
授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できることを評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	卓越した演技技術を持ち、深い理解と創造性で表現が豊かである。	高度な演技技術を理解し、自然で魅力的な表現ができている。	幅広い演技技術を理解し、感情や状況に適切に対応している。	基本的な演技技術を理解しているが、深みや多様性が欠けている。	初歩的な演技技術が不十分であり、表現が不自然である。					
到達目標 B	役柄への卓越した理解があり、独自の深い洞察と創造的アプローチで役柄を豊かに表現している。	役柄の深い理解があり、独自のアプローチが効果的に役柄に反映されている。	役柄の背景や心情を適切に理解し、自己のアプローチが役柄に統合されている。	役柄の基本的な特徴や心情を理解しているが、アプローチに一貫性が欠ける。	役柄の理解が不十分であり、自己のアプローチが明確でない。					
到達目標 C	自己表現が卓越しており、独自の洞察と創造性で表現が豊かである。	自己表現が豊かで多様であり、独自のアプローチが効果的に取り入れられている。	自己表現があり、役柄や状況に適切に反映されている。	自己表現が一部見られるが、多様性や独自性に欠ける。	自己表現や創造性が不十分であり、演技に深みがない。					
到達目標 D	映画の基本的な要素に対する卓越した理解があり、感情や意見が洞察的かつ印象的に表現されている。	映画の基本的な要素に深い理解があり、感情や意見が洞察的に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があり、感情や意見が適切に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があるが、まとめが不十分。	映画の基本的な要素に関する理解が不十分。					
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い					
【教科書】										
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		演技研究Ⅱ			年度	2024				
英語表記		Performance Study Ⅱ			学期	後期				
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価				
1	古典作品について理解する	歴史的背景や文化的枠組み、その時代の価値観を習得する	1 歴史的背景	古典作品を取り巻く歴史的な状況や背景を理解する	3					
			2 文化的枠組み	古典作品の文化的枠組みを分析できる						
			3 古典作品の理解	古典作品を分析し理解できる						
2	古典作品（邦画）について理解する	邦画の古典作品を通じて日本の映画芸術を理解する	1 邦画の歴史的背景	日本映画の歴史的背景や進化を理解できる						
			2 代表的な邦画古典作品	古典作品の映画的手法や技術を理解できる						
			3 邦画古典作品の社会的影響	古典作品の社会的評価の分析ができる						
3	ドキュメンタリー作品を理解する	ドキュメンタリー作品の特徴や制作背景、社会的意義を理解する	1 作品の特徴	ドキュメンタリー作品の演出の特徴を理解する						
			2 制作背景	ドキュメンタリー作品の制作背景を理解する						
			3 社会的意義	ドキュメンタリー作品の社会的意義を理解する						
4	邦画によるドキュメント作品描写の違いを理解する	ドキュメンタリー作品が邦画においてどのように描写されるかを理解する	1 ドキュメンタリーの定義	ドキュメンタリージャンルを理解する						
			2 ドキュメンタリー作品の分析	ドキュメンタリー作品を多角的に分析する						
			3 制作過程	ドキュメンタリー作品の制作過程を理解する						
5	革新的な技術を用いた作品に関しての、技術と演技の融合について理解する	作品における技術と演技の融合を理解する	1 演技の基本	革新的技術が演技に与える影響を理解する						
			2 作品の事例研究	革新的な作品の事例研究ができる						
			3 技術と演技の融合	技術と演技を融合する能力を高めることができる						
6	最新技術を用いた作品を考察、それによって演技との関係性を理解する	最新の技術を活用した映画や舞台作品を研究・考察する	1 最新技術を用いた作品の分析	最新技術を用いた作品の分析ができる						
			2 技術と演技の関係性	技術が演技に与える影響や関係を探索できる						
			3 技術的要素と演技との関係性	技術的要素と演技との関係性を理解する						
7	舞台での表現方法と映像での表現方法の違いについて理解する	舞台および映像における表現方法の違いを理解する	1 表現方法の比較	舞台演劇と映画の異なる表現方法を比較する						
			2 実演と映像の対比	舞台での実演と映像を対比する						
			3 舞台と映像の特徴	舞台と映像の特徴を理解できる						
8	アニメーションを考察、声優について考察し、なぜ声優が必要なのか理解する	声優が果たす役割と重要性を明確に理解する	1 声優の役割	声優の役割を理解できる						
			2 声優の表現力	声優の表現力が作品に与える影響を理解する						
			3 声優の演技	声優の演技の重要度について理解する						
9	アニメーション作品を考察、声優の技術について理解する	アニメーション作品を考察し、声優の技術について理解する	1 作品の考察	アニメーション作品の基本的な特徴を理解する						
			2 声優の技術	声の使い方、表現力、役柄へのアプローチ方法を理解する						
			3 声の演出技術	声の演出技術について探求することができる						
10	様々なジャンルを見比べて来て、自分がどのような作品に関わり、どんな声優・俳優になるべきかを考え、理解する	作品を比較・分析し、将来的にどのような作品に関わり、どんな声優・俳優になるべきかを熟考する	1 ジャンル比較と分析	異なるジャンルの映像作品や舞台作品を観賞し比較できる						
			2 自己分析	それぞれの特性や興味、才能を理解を基に将来を考えることができる						
			3 声優・俳優のキャリア	自身がどのような作品や役柄に関わりたいかを考えることができる						
11	演技やスキルアップの必要性を理解し、芸能の世界での重要性を説明する	演技の意義や目的、それがスキルアップにどのように貢献するかを学び、芸能の世界での重要性を明確に説明する	1 演技の意義・目的の理解	演技のスキルアップがどのように芸能に貢献できるのかを理解する						
			2 芸能関連スキルや知識	芸能の世界でのスキルアップにどのように貢献するかを具体的な事例や研究を通じて理解する						
			3 芸能界での成功	演技の向上が芸能界で成功するためになぜ重要なのかを理解する						
12	舞台演技と映像演技の違いを理解し、それぞれで求められるスキルやアプローチの違いを理解する	舞台演技と映像演技の独自の特徴や要求事項を理解する	1 舞台演技と映像演技の違い	舞台演技と映像演技の基本的な違いを理解する						
			2 舞台演技のスキルとアプローチ	声の使い方、身体表現、舞台全体へのアプローチを理解する						
			3 映像演技のスキル	映像演技に必要なスキルやアプローチを具体的に示すことができる						
13	声優と俳優の役割の違いを理解し、それに応じたスキルや表現力について比較・説明する	声優と俳優の役割の違いを明確に理解し、それに基づいて必要なスキルや表現力の違いを説明する能力を身につける	1 声優と俳優の役割と違い	声優と俳優の基本的な役割とそれが異なる点について比較できる						
			2 スキルと表現力	声優に必要なスキルや表現力と俳優に必要なスキルや表現力を比較できる						
			3 実践的な演習	声優と俳優の役割を体験する実践的な演習を通じて、適切なスキルや表現力の習得ができる						
14	芸能の世界において表現力と感情表現の重要性を理解し、それが作品や役割へ与える影響を理解する	芸能の世界において、表現力と感情表現の重要性を明示的に理解する	1 表現力と感情表現	具体的な事例や映像を通じて、その力と影響を理解できる						
			2 表現方法の研究	表現方法を実践的に学び、それが作品や役割へどのように反映されるかを探索できる						
			3 作品や役割への影響の分析	表現力と感情表現が作品や役割に与える影響を分析することができる						
15	現代の演技技術や新たなトレンドについて調査・分析し、その進化が芸能の世界においてどのような影響を与えているか理解する	現代の演技技術や新たなトレンドについて調査・分析を行う	1 現代の演技技術	現代の演技技術の特徴や変化を調査し、分析ができる						
			2 演技のトレンド	演技技術やトレンドの具体的な影響を分析できる						
			3 演技演習	新たな技術を活用した表現を体験し、自身の演技スキルを向上させることができる						
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他										
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった										
備考 等										